

令和元年度西区実施プラン 期末報告

令和2年（2020年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和元年度（平成31年度）の取組結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和2年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和2年（2020年）3月31日

西区長 栗崎 寿也

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに西区のまちづくりを進めてまいります。

◇ 西区の運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく防災・環境・文化芸術の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
- ◆ 市民感覚を大切にしながら地域とともに進めるまちづくり

- ・ 各部の目標
- ・ 運営方針実現のための取組

Ⅱ 運営方針実現のための取組

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1) 地域の防災力強化

北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、「西区防災訓練」で避難所の設営体験を伴う実践的な避難所開設訓練を実施しました。

また、避難所実地研修において円滑な避難所開設を行うため区職員、学校職員及び地域住民とともに避難所(小中学校)の施設・設備を確認しました。

さらに、「災害に強いまちづくり事業」として、地域における防災上の課題や必要な支援のニーズ調査を行いました。

地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を開催し、新しい避難所基本計画や備蓄状況及び西区における防災対策について情報共有を図りました。

〈数値目標〉 西区防災訓練の地域住民参加者数 100 人 ⇒ 実績 102 人



西区防災訓練



西区災害防止安全対策連絡会議

(2) 認知症の方や家族への支援

区民を対象とした認知症の理解を深めるための講座と同時に、男性介護者が情報交換する集いの場として(西区ケア友の会)を開催しました。「医療と介護のポイント」をテーマに認知症の専門医から、認知症の方への上手なかかわり方や主治医に相談するポイントなどを講演いただき、交流会では、日ごろの介護についての思いや体験を語ることで、参加者からは、「自分だけではない」「他者の話を聞き介護に前向きになれた」という声が聴かれました。あわせて、今後の「西区ケア友の会」のテーマやチラシについてご意見をいただき、当事者の目線を今後の事業に活用していきます。

地域の方が認知症を正しく理解し見守ることができるよう、各地域で認知症サポーター養成講座を実施しています。区役所でも昨年度に引き続き、転入職員向け認知症サポーター養成講座を開催し、職員として必要な認知症に関する基礎知識や認知症の方への関わり方について学びました。

また、西区オリジナルの「(や) さしさ (ま) ごころのあるまち つくる (べ) (エ)」というキャッチフレーズのもと、多くの区民の皆様が認知症についての理解を深め、早期

に気付き、見守りや相談に結びつくよう、認知症チェックリストや相談先について掲載したリーフレットを、区民の代表と関係機関で構成する「地域ケア会議」で作成しました。リーフレットは来年度配布を予定しており、より多くの区民の皆様に「認知症にやさしいまち西区」について知っていただけるよう今後も普及啓発に努めます。



西区ケア友の会
(認知症の方を介護する男性介護者の集い)



西区転入職員向け
認知症サポーター養成講座

(3)介護予防体操の普及

住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ！やまべ誰でも体操」を地域の方々の手で広まるよう、普及員養成講座を実施して体操ボランティアである普及員を養成し、昨年度から新たに44人（昨年度346人）増加し390人となりました。

普及員は、YOSAKOIソーラン祭り等の全市的なイベントや各地区で行われるお祭りや様々な場所で普及活動を行っています。住民同士の集いの場でも体操を取り入れる団体が増えており、やまべ体操実施団体（ステッカー交付団体）は25から29団体に増加しました。

また、普及員同士のネットワーク構築と活動意欲向上を目指し、それぞれの活動報告や体操の更なる普及方法について話し合う普及員向け研修会を実施しました。

今年度より、活動実績に応じて普及グッズと交換できるポイント制度を導入し、普及活動へのモチベーションを高めるための取り組みも行いました。

更なる活動の場を望む声が聞かれたため、今年度新たに普及員向けステップアップ研修会を実施し、体操の指導やグループ運営の支援などを行える人材として「リーダー普及員」を27人養成しました。また、「リーダー普及員」の活躍の場として、普及員派遣事業を新たに開始し、体操を取り入れてみたい団体に対し、リーダー普及員を派遣しました。派遣を通して、新たな活動団体の増加と普及員の社会参加の推進、地域づくりにもつながりました。

〈数値目標〉 普及員数 385 人 ⇒ 実績 390 人



YOSAKOI ソーラン祭



普及員養成講座



普及員派遣事業を
自主グループにて実施

(4)安心して子育てできる地域の環境づくり

こそだてインフォメーション「さんかくやまベエのへや」などにおいて、利用者のニーズに添い、子育てに関する情報の提供や相談などを行いました。

乳幼児の子育て家庭が安心して子育てできるよう、地域の子育て関係機関や団体、地域主体の子育てサロンや子育て支援者と連携し、「転入者子育て交流会」や「さんかくやまベエまつり」を開催するなど、地域の環境づくりの充実を図りました。



309人が参加した
「さんかくやまベエまつり」



転入者子育て交流会

(5)地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指して、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体やグループの活動を支援し、健康フェアやウォーキング会、健康講座など、誰もが参加できる健康づくり事業を年57回協働で実施しました。

また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、地域主催の健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場を活用し、若い世代に対してがん検診等の啓発を行うと共に、西区ウォーキングマップを改訂し、幅広い世代に向けた啓発を行いました。



地域主催の健康講座



西区ウォーキングマップ



第10回西区ウォーキング

(6)誰もが楽しめる公園づくり

身近な公園のリニューアルを、地域の方々と意見交換を行いながら7公園で進めました。また、老朽化した遊具、ベンチ、外柵などの部分改修を6公園で行いました。



西野台公園（改修前）



西野台公園（改修後）



意見交換会の様子

(7)自転車対策の推進

路上に置かれた自転車が歩行者の通行を妨げないように、自転車整理業務を行うとともに、駐輪場スペース確保のため、地下鉄4駅、JR4駅の駐輪場35箇所を中心に、長期間放置されている自転車（1,087台）の撤去を実施しました。また、路上に放置されている自転車73台を撤去しました。



駐輪場

(8)安全・安心な道路の確保

老朽化が進んでいた生活道路について、舗装の更新などの生活道路整備を30路線で実施しました。

また、冬期間の円滑な交通を確保するため、車道512km、歩道260kmの除排雪を実施しました。

2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1) 西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動を支援

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」が実施する子供を対象としたイベントなど、SDGs（持続可能な開発目標）に資する環境活動を支援しました。

① 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付しました。

＜補助金を活用して実施された主な活動＞

◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」

琴似発寒川や五天山公園などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会を実施しました。（エコキッズ・プログラム 11 回 954 人、親子でエコキッズ・プログラム 2 回 22 組 48 人、西区コドモ自然学校 2 回 37 人参加）



西区コドモ自然学校

◆「親子で環境満喫バスツアー」

親子で市内工場等をめぐり、各施設の省エネやリサイクル等、環境に関する取組を学べる見学バスツアーを開催しました。（実施 2 回で親子 38 組 78 人参加）



サツラク札幌工場にて牛舎の見学



省エネ自動販売機について説明
（コカ・コーラ札幌工場）

◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習総合センターちえりあにおいて、様々な体験を通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント「西区こども環境広場」を開催しました。1階のロビーでは、区内児童が日頃より取り組んでいる環境活動について発表する「子ども環境活動発表会」や「液体窒素を使った実験講座」、「環境に関するクイズ大会」を実施しました。（12月1日実施、延べ 866 人来場）



子ども環境活動発表会

② 西区環境教育リーダー養成講習

西区の環境活動を担う人材を養成するための講習会を、8月に平和湖（琴似発寒川上流）で開催し、受講した11人を「西区環境教育リーダー」として認定いたしました。

受講者は、講習会で得た知識や経験を活かして、子ども自然学校など区内の子ども向け環境活動にて、ボランティアスタッフとして活動しました。

(2) 琴似発寒川の環境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川の環境保全活動を支援します。

① 琴似発寒川一斉清掃

西区内全ての連合町内会が参加して、春と秋の年2回、琴似発寒川及び左股川の河畔約12kmを清掃しました。

参加人数（合計）：3,384人



春の琴似発寒川一斉清掃

② やまめの稚魚放流

西区内全ての連合町内会が参加して、春の一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域6会場で、やまめの稚魚30,000匹を放流しました。

参加人数：1,582人



やまめの稚魚放流

(3) 地域の文化芸術活動の推進

西区には、様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境が整っています。その環境を生かして、区民が上質な文化芸術に触れる機会を創出します。また、普段芸術文化に触れる機会が少ない方でも気軽に足を運べるように、地域のホールなど身近な施設を活用することで、地域のにぎわいづくりや住民間の交流を促進し、文化芸術を生かしたまちづくりを進めていきます。

① コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅がにぎわう夕方の時間帯に本格的なジャズを楽しんでもらおうと、札幌を代表するサックス奏者の蛇池雅人さん、小野健悟さんなどが出演するジャズライブを6月～9月に4回開催しました。

3月15日(日)に西野地区センターで開催を予定していたジョニー黒田とディキシープリンスの拡大版コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し中止となりました。



コトニジャズ vol.50 (9月24日開催)

② コトニ クラシック

地下鉄琴似駅コンコースを会場に、ヴァイオリニスト大平まゆみさんのコンサートを6月～9月にかけて3回開催しました。地下鉄車両の通過音が聞こえるなか、観客の皆様は会場内に響き渡るヴァイオリンの優雅な音色に酔いしれていました。



コトニクラシック vol.26 (8月7日開催)

なお、より多くの方に上質な音楽に触れていただくとう、3月8日(日)に開催を予定していたはっさむ地区センターでの拡大版コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し中止となりました。

〈数値目標〉コトニジャズとコトニクラシックの来場者数 1,600人 ⇒ 1,110人

③ 西区文化フェスタ

1月31日から3月15日までの日程で、ことにパトスをメイン会場に、ジャズ、クラシック、ダンス、日舞、演劇など様々なジャンルの芸術文化イベント15公演を開催しました。オープニングイベントは、ちえりあホールを会場に「クラシックとアイリッシュのしらべ」と題して、ランス室内楽団とNotes of North (ノーツ オブ ノース)による、本格的なクラシックとアイルランド伝統音楽の演奏、3部構成の最後にはタイプの異なる2団体によるコラボ演奏を楽しみました。

当初は、3月15日(日)西野地区センターでのコトニジャズまでの期間を開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し中止となったため、2月23日(日)ことにパトスでのライブ公演で終了となりました。

〈数値目標〉来場者アンケートにおける満足度 85%以上 ⇒ 90%



ランス室内楽団（オープニング1月31日開催）



西区邦楽邦舞（2月8日開催）

④ 子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」

小学校の夏休みを利用し子どもたちが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する「こども・あーと・にしく」。令和元年度は、7月31日（水）に北海道科学大学未来デザイン学部メディアデザイン学科准教授 倉本浩平氏を講師に迎え「ミテ・ハナシテ・ツクル！短編映画とコマドリ・アニメの世界！」を開催しました。午前中はiPad（アイパッド）を使い粘土細工をコマ撮り撮影し短編映像を作成しました。この作品は、後日、DVDにまとめ参加者に配布しました。

午後からは、大学内の芸術的建造物や学生の展示物などを見学しました。普段はなかなか見ることが出来ない施設などを見学することができ、子どもたちは目を輝かせていました。



iPad を使い短編映像を作成



大学内に設置されている塔時計の見学

3 市民感覚を大切にした地域とともに進めるまちづくり

(1) 市民や企業等との連携

① 産民学官連携による西区魅力創出事業

西区における集客交流・地域活性化を進めるため、西区内の企業等と連携し、西区の子どもや若い世代に自然体験や工場見学を体験してもらう周遊ツアーを実施しました。また、北海道科学大学未来デザイン学部と連携し、周遊ツアーの際の動画を使用した西区PR動画を制作し、西区役所1階ロビーで放映しました。

(西区周遊ツアー：8月8日(行先：札幌酒精工業(株)、白い恋人パーク)、8月9日(行先：山内ビニール加工(株)、白い恋人パーク、札幌西清掃事務所、発寒清掃工場)、9月28日(行先：JFE条鋼(株)、白い恋人パーク)の計3回実施。計62人参加)



8月8日実施：札幌酒精工業(株)
レモンリキュール作成(参加者18人)



8月9日実施：山内ビニール加工(株)
工場見学(参加者24人)



9月28日実施：JFE条鋼(株)
工場見学(参加者20人)

② 株式会社コンソーレとの連携事業

西区のまちづくり活動の活性化及び町内会加入促進のため、株式会社コンソーレと連携し、町内会や商店街が主催・運営する夏まつりへ、北海道コンソーレ札幌のマスコットキャラクターであるドーレくんを派遣していただき、お祭りを盛り上げてもらいました。



八軒中央納涼まつり

(2) 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8か所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指します

八軒まちづくりセンター

地域の力を結集し支え合うまちづくり - 安全安心・見守り・防災 -

八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などによる「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を構成し、安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。青色回転灯装着車による防犯パトロール、地域安全安心ステーションによる啓発、高齢者の見守り活動を行ったほか、地域防災力の向上につながる取組みとして、基幹避難所施設見学会、避難所運営研修会（HUG）などを行いました。



地域安全安心ステーション啓発
(啓発従事者延べ 82 人)



基幹避難所施設見学会
(八軒東中、八軒小、八軒西小)
(参加者 32 人)



避難所運営研修会 (HUG)
(参加者 61 人)

琴似二十四軒まちづくりセンター

「まちづくり協議会」の事業をバックアップ

(1) 琴似地区まちづくり協議会

屯田の森の歴史的意義を継承し、若い世代の理解を深め、夏のひとときを地域で楽しむことを目的に「琴似屯田夏まつり」を開催しました。4回目となり、地域のおまつりとして浸透し、盛り上がっています。



おまつり会場



ご当地アイドルのステージ

(2) 二十四軒地区まちづくり協議会

子どもたちがダンボールや木材、布類など用意された道具を使い、自分でやりたいことを決めて自由に遊ぶ「プレーパーク」を開催しました。地域の多世代間の交流が生まれています。



今年も出現！
ダンボールスライダー



みんなでプレーパークの旗づくり

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子どもたちが地域への愛着をより一層深められるような、活気ある住みよい街を目指し、「北海道コンサドーレ札幌の選手・コーチの指導による少年サッカー教室」（参加者：86人）や「地域の小学校の児童と北海道コンサドーレ札幌の選手との交流会」（参加者：1小学校104人）を実施しました。



少年サッカー教室



小学生とコンサドーレとの交流会



発寒北まちづくりセンター

発寒北地域内一斉環境美化週間「発北キラキラ7days」

“地域の皆さんと一緒にこのまちをキレイにしたい！”という小中学生の思いから始まった環境美化活動「発北キラキラ7days」。

9年目を迎えた今回は、天候の関係で若干の日程変更はありましたが、中学校1校・小学校2校で実施されました。そのほか町内会単位と保育園で清掃活動が行われました。



町内会役員と発寒小の児童



西野まちづくりセンター

水車のあるまちエコCity 西野

かつて140基もの水車が存在し、西野米と呼ばれるお米を生産する広大な水田地帯だった西野地区の歴史を子どもたちに伝えるため「水車で地域交流会」を五天山公園で実施し、158人が参加しました。

地域の方から直接、西野の歴史を学んだほか、ビンや棒を使った昔ながらの精米体験や縄作り、薪割りした木で火をおこし、羽釜を用いた炊飯などの体験活動を行いました。



西野の歴史を学ぶ



精米体験



羽釜で炊飯体験



五天山を背に全員集合

山の手まちづくりセンター

地域内のまちづくり関係団体のネットワーク化支援

地域住民の交流の活性化、地域の絆の強化によるまちづくり力の向上を目的に実施されている「夏祭り（盆踊り）」や「交流の広場」、「ハロウィン子どもねぶた in 山の手」での山の手商工振興会と山の手連合町内会の連携を支援しました。

また、福祉分野では、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりへの支援として、連町福祉部と福祉専門機関（社協・地域包括支援センター・介護予防センター）との連携や協力を推進しました。

連町を中心に、地域でまちづくりを推進する力が増していることから、引き続き効果的な連携を支援していきます。



夏祭り（盆踊り）



ハロウィン祭り

発寒まちづくりセンター

地球にやさしいまちづくりの推進～エコタウンはっさむ

商店街・子ども会・町内会が連携して環境にやさしい取り組みを行う「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」には、発寒南小の児童が参加して落ち葉拾いと切り返し作業を体験しました（落ち葉拾いは1回、切り返し作業は4回実施）。春には堆肥となった「落ち葉」を校内の花壇や畑で使います。



落ち葉の切り返し作業の様子

使用済み天ぷら油をリサイクルする活動では、「エコ石けん教室」を3回、ローソクづくりを2回、発寒まちづくりセンター、発寒南小及び発寒児童会館で行いました。

八軒中央まちづくりセンター

まちづくり探検隊 Part 1 3 ～災害に備えてわたしたちができること～

子どもたちの地域への愛着を深め、まちづくりの担い手としての意識を育むため、琴似中央小学校5年生の総合学習として、八軒中央連合町内会とともに「まちづくり探検隊」事業を実施しました。

今年度は、昨年度に引き続き「災害に備えてわたしたちができること」をテーマに、5回に渡って施設見学や避難所設営体験などを行い、児童自ら学習の成果を「発表会」の場で保護者や地域の方々に披露した後、その内容を小冊子にまとめました。



校外に出て地域の
防災施設を見学



学校の体育館で
避難所設営を体験



学習の成果を保護者や
地域の方々に披露

(3) 緑あふれるまちづくり

道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を、地域の皆さんと協働で行いました。

また、道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりを地域と協力して進めました。

（36 団体へ 15,948 株の花苗を配布、参加人数 1,069 人）



花苗植栽による歩道美化



二十四軒手稲通（ラベンダー通り）

(4)地下鉄宮の沢駅周辺のにぎわいを創出

宮の沢駅周辺のさらなる活性化を図るため、「宮の沢まちづくり協議会」が実施する活動を支援しました。主な活動として、地域住民や観光客に宮の沢の魅力を提供することを目的としたマルシェ（ピクニック・フェス宮の沢 2019）が8月に開催され、平成30年度に作成した「てくてく宮の沢マップ」の修正及び増刷が実施されました。

(5)冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策への理解が深まるよう、西区内全ての小学校20校で雪体験授業を行いました。



雪体験授業

(6)区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会を始めとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真42枚）や西区ホームページ（214件）で広く紹介しました。

また、今年度は新たに、広報さっぽろの企画として「今月のやまベフレンズ」（9回）の連載をスタートさせるとともに、西区役所の1階ロビーレイアウト変更により新設されたデジタルサイネージ（電子看板）に「西区ニュース」（R2.2～、10件）を定期的に配信しました。



やまベフレンズ



デジタルサイネージに表示した西区ニュース

(7)区役所の行政サービス向上への取組

より利用しやすい区役所及び待ち時間のサービスアップを目指して、以下のとおり1階ロビーのリニューアルを行いました(2月3日利用開始)。

- ・1階戸籍住民課窓口の受付待ち人数や呼び出し状況がホームページやスマートフォンで確認できるサービスの開始。
- ・西区広域地図と庁舎案内を統合した総合案内板を入口正面に新設。
- ・デジタルサイネージを2つ新設し、西区の行政情報等を発信。緊急時には災害情報を速やかに表示。
- ・車いす利用者や高齢者向けに、座りながら記載できる低い記載台を増設(2台→5台)。
- ・子育て世代向けに、絵本(約50冊)と子ども用ベンチを備えたキッズコーナーを新設。
- ・レイアウト変更後、スムーズに庁舎案内等を行うため、戸籍住民課の繁忙期に合わせ、1階ロビーにコンシェルジュを1名配置。